

団体名		公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団						
①	指標名	健康づくり支援センターホームページアクセス数			目標値	178,000件	実績値	41,417件
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	23.3%	達成状況	未達成
	(単位:件)	-	-	-				
	取組内容	①市の関連部署・施設・団体・健康づくり推進員と連携して情報収集し、市内で市民が利用できる健康づくりを集約して発信。 ②募集受付期間中の健康づくり情報をいつでもトップページで閲覧できるよう適宜更新し、年代別等の検索ページも充実。 ③健康づくりはつらつメンバー（市民の登録制度R4.3現在3,814人）に対し、ホームページリニューアルのお知らせ文及びホームページに関するアンケートを郵送またはメール送付。 ④リニューアルのお知らせ及びホームページ掲載のウォーキング教室動画のPRチラシをパートナー店・掲示板等で周知。 ⑤健康づくり推進員によるホームページ案内窓口を設置。 ⑥講座参加者や地域団体等に対してホームページ活用のPR実施。						
	一次評価	ホームページアクセス数の達成状況は23.3%であったが、ホームページの閲覧が難しい市民に対しては健康づくり推進員による電話及び案内により対応した。また、個別に案内を送付した健康づくりはつらつメンバーのうち、メールマガジン登録者（R4.3現在1,121人）については、定期的に健康づくり情報を配信できていた。今後も、ホームページへのアクセス数増への取組みだけでなく、「自ら情報を得て健康づくりを実践していく市民」を増やしていく様々な取組みをあわせて実施していく。また、ホームページアクセス数増への取組みにおいては、ホームページの内容を更に利用しやすく充実させていくとともに、健康づくり推進員による情報発信推進チームを設置し地域活動の中で働きかけを行う等、市民に広く周知する方法を検討実施していく。						
二次評価	新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、健康づくりに対する市民の関心を高めるため、健康づくり支援センターホームページのリニューアル等を行い、健康づくりの最新情報を集約してわかりやすく発信していることは評価する。事業団全体のホームページアクセス数は設定した目標値に届いていないため、内容のさらなる充実や地域団体等へのPRを実施するなど、アクセス数増に向けた取組みを進めていただきたい。							
②	指標名	健診事業収益			目標値	48,000千円	実績値	45,965千円
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	95.7%	達成状況	未達成
	(単位:千円)	55,964	52,183	43,851				
	取組内容	①人間ドック・職域健診受診の周知PRとして、広報誌（全戸配布）に掲載、市報（年6回）掲載、骨健診受診者へのチラシ配布、健康づくり推進員によるチラシ配布等を行い、利用者の増加に努めた。 ②健診予約代行機関3事業者に登録し、利用者増の機会とした。 ③託児付きの人間ドックを行い、受診者の利便性を図った。 ④人間ドックのふるさと応援寄付金の返礼品としての提供や、くらし地域応援券の利用登録を行い、周知及び利用増の機会とした。 ⑤人間ドックは、新型コロナウイルス感染防止対策で定員減としていたが、12月21日より14人から16人に増やして実施した。						
	一次評価	前年度より増加したものの、目標値を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で、人間ドック既利用者に対する受診勧奨ハガキの送付を行わなかったことが要因の一つと考えられる。今後は、既利用者の定期的な受診を促す受診勧奨を再開したい。また、利用者の利便性を高めるためのWeb予約申込や受診料のキャッシュレス決済等の新たな取組みや、市民に広く周知する効果的な方法について、更に検討し進めていきたい。						
二次評価	目標は達成できなかったが、様々なツールを活用して人間ドックや職域健診の周知に努めたほか、人間ドックをふるさと応援寄付金の返礼品として提供したり、くらし地域応援券の利用登録を行ったりするなど、事業団が実施する健診事業の利用拡大に努めたことは評価する。引き続き、感染症対策に取り組んだうえで、安心・安全な健診事業の実施に努め、収益向上に取り組んでいきたい。							
③	指標名	人材育成指針			目標値	人材育成指針の作成	実績値	人材育成指針の作成
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	(単位:)	-	作成に向けた情報収集	作成に向けた検討				
	取組内容	①職員の能力を伸ばし資質を向上させ組織を活性化することにより、組織の計画目標を達成するための人材育成指針の内容について更に検討を進めた。 ②事業団職員に求められる「行動理念である価値観・取組み姿勢、職務上必要なスキル・行動その他」の人材像に関する検討を更に進めた。 ③求められる人材に育成するための手法、研修、仕組み等、指針の作成に向けた検討を更に進めた。 ④上記を踏まえ、人材育成指針（案）を作成後、職員の意見による修正を経て理事会に諮り、人材育成指針を完成した。						
	一次評価	公益財団法人武蔵野健康づくり事業団 人材育成指針を作成し、目標を達成した。今後は、人材育成指針に基づき人材育成を推進していくため、人材育成指針に基づくより具体的な研修計画を毎年度作成し、様々な研修を実施していく。						
二次評価	事業団の中期計画の目標達成やビジョンの実現において必要である「人材育成指針」を職員参加で作成したことは評価する。指針に基づく職員研修計画を作成し、感染症対策にも配慮しながら様々な研修等を実施し、人材育成に努めていただきたい。							